

2 個別事業評価調書

団体名:与謝野町

事業名		防災行政無線施設整備事業					
事業の概要		防災行政無線は台風や地震のような災害時等に、全ての住民へ情報伝達するための重要な設備である。平成18年3月の合併以来、防災行政無線の整備状況は旧町ごとに大きく異なっている現状であり、旧町の役場を中心とした旧町単位での体制となっている。 全町に拡張されるCATV事業による加入者各戸への「FM告知放送端末機」の整備(本事業とは別事業)と合わせて、一括統制された防災行政無線システムを導入し、災害に強い安心・安全なまちづくりの実現を目指す。 (本年度事業) 親局・中継局整備及び加悦地域(未整備地域)に屋外拡声器26台設置					
		事業期間	平成22年9月17日～平成23年3月31日				
		総事業費	190,422	本年度事業費	190,422	交付金交付額	4,760
事業評価	事業の必要性	平成18年3月の合併以来、防災行政無線の整備状況は旧町ごとに大きく異なっている現状であり、旧町の役場を中心とした旧町単位での体制となっているため、災害等の緊急時には一括統制されたシステム体制の構築が望まれている。					
	事業の有効性	今回の整備事業により災害等の緊急時に住民へのスムーズな情報伝達を行うことができ、避難や災害対応等の地域住民の迅速な行動の一助となる。					
	事業の効率性	本事業により、災害等の緊急時に効率的かつ迅速に全町民へ情報伝達できるようになり、当町の総合計画に掲げる災害に強い安心・安全なまちづくりの実現に繋がる。					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果 本事業により、災害等の緊急時に効率的かつ迅速に全町民へ情報伝達できるようになり、地域での防災や非難活動に役立つ。					
		3 リーディング・モデル成果 全町に拡張されるCATV事業による加入者各戸への「FM告知放送端末機」の整備(本事業とは別事業)と連携させた、一括統制された防災行政無線システムを導入し、災害に強い安心・安全なまちづくりの実現を目指す。					
4 広域的波及成果 今回の事業により、防災行政無線の屋外放送装置が未整備であった地域にも整備されることとなり、全町域で一括統制された情報伝達システムによる災害時の体制強化を実現させることとなる。							
5 行財政改革に資する成果 異なるシステムを一つにすることにより、効率的な運営に繋がる。							
6 その他の成果 従来は災害時等は旧町域ごとに、旧町役場から放送を行ってきたが、全町域に一括放送するためには非効率であり支障があった。加えて屋外放送設備が未整備の地域もあり、全町域に一括放送できるシステムの構築が急務であった。 今回の整備によりそれらの課題が解消され、全町民の安心・安全な防災体制の実現に繋がる。							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。